

# Monthly Report

- I. キャンプディレクター養成講習会・会場(PD)追加
- II. SKY CAMP in あさぎり報告
- III. 職員退職のお知らせ
- IV. キャンプ安全標語優秀作品
  - ・ 都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ
  - ・ NCAJ CALENDAR
  - ・ TOPICS



CAMPING 149号の特集では、「デイキャンプ」を取り上げました。これは多くの人々がイメージするであろう「単発の日帰りキャンプ」のことではなく、北米を中心にごく一般的に知られている「通い型の日帰りキャンプ」のことで、学童保育や託児所のような子育て支援としての機能がかかなり重視されているものです。顔見知りのメンバーやリーダーと、昨日とは違うことをして楽しんだり、おとつよりはちょっと難しいことに挑戦してみたりする。そこにキャンプの人を育てる力が存分に発揮されるという発想で行われており、子どもたちは夏休みの多くの時間をキャンプで過ごします。

アメリカのデイキャンプに見学に行くと、上の写真のように黄色いスクールバスが駐車場に並んでいるのをよく見かけます。スクールバスが個人の運営するキャンプの送迎に供されるのは、キャンプの意義がコミュニティ(地域社会)に広く理解されていることの反映なのだろうと思います。

時代の変化に応じて、コミュニティの機能は変わります。たとえば30年ほど前の日本のコミュニティには、子どももお年寄りもひっくるめて、緩やかなつながりの中で見守るという機能があったように思います。しかし今は、子どものことは子どものこと、お年寄りのことはお年寄りのことというように機能分化が進み、地域のおじさん、おばさんの出番も少なくなって、それぞれにちょっと疲弊しているように感じられます。「その仕事、キャンプがやります!」、そう名乗りを上げることのできるテーマが、身近なところにあるのではないのでしょうか?

事務局 長 金山 竜也

都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ：県協会内での情報共有を図るため、協会役員の方々への転送をお願いいたします。

## I. キャンプディレクター養成講習会・受講生募集 ～会場が追加されました～

キャンプディレクター1級・2級養成講習会の受講者を募集中です。新たにキャンプディレクター2級(PD)の会場が追加されました。周囲にステップアップを目指す指導者会員がおられましたら、ぜひ参加を呼びかけていただくようお願いいたします。(広島会場は中止となりました。来年度改めて実施します。)

### キャンプディレクター2級(PD)

会場	日程	申込締切	受講料
千葉	11/23-25	11/9	38,000円
愛知	11/23-25	10/20	36,000円
奈良	2/9-11	1/11	36,000円

### キャンプディレクター2級(MD)

会場	日程	申込締切	受講料
東京	2/16-17	1/25	18,000円

### キャンプディレクター1級

会場	日程	申込締切	受講料
静岡	11/22-25	10/26	46,000円

- ・ コースごとに受講要件があります。
- ・ PDコースは県協会主催で実施されます。
- ・ 最少催行人数・定員が設定されています。
- ・ ディレクター1級検定会(1/19-20)は受検対象者に別途ご案内します。

詳細は開催要項をご覧ください。

[www.camping.or.jp/2012CD.pdf](http://www.camping.or.jp/2012CD.pdf)

PD 千葉会場 (NPO 東京都キャンプ協会主催)

[www.camping.or.jp/2012PDtokyo.pdf](http://www.camping.or.jp/2012PDtokyo.pdf)

PD 愛知会場 (愛知県キャンプ協会主催)

[www.camping.or.jp/2012PDaichi.pdf](http://www.camping.or.jp/2012PDaichi.pdf)

PD 奈良会場 (大阪府キャンプ協会主催)

[www.camping.or.jp/2012PDosaka.pdf](http://www.camping.or.jp/2012PDosaka.pdf)

BUC や各種研修等は日本キャンプ協会 WEB サイト内「イベントカレンダー」でもご紹介しています。

## II. 2回目のグリーンキャンプ「SKY CAMP in あさぎり」を行いました

Vol.4でお伝えした、2回目のグリーンキャンプ「SKY CAMP in あさぎり」を9月15日(土)～17日(祝)、朝霧野外活動センター・キャンプ場を会場に行いました。今回のキャンパーは小3から専門学校生までの17人。そのうち9人は春の台湾キャンプの参加者で、多くの子どもたちがまた来てくれたことをうれしく思いながら、キャンプを行いました。ここではその様子を簡単にご紹介します。

### 自分の気持ちを見つめること・大切な人をていねいに思い出すこと

今回のキャンプでは「おもいで時間」と題して、スーパーバイザーの西田さんのリードで、自分の気持ちを確認したり、大切な人を思い出したりするきっかけとなるような働きかけを試みました。

まず、ここにいる人はみんな大切な人を亡くした経験を持っていて、このキャンプは亡くなった人のことを話してもいい、安心な場所であることを伝えます。そして、さまざまな感情を表現した顔のイラストから、今の自分の気持ちに近いものを選び、大きく描いたハートに貼り付け、まわりをシールや色ペンで飾るという活動をしました。

キャンドルファイアの時には、プロのミュージシャンの心地よい音楽を聴き、リラックスした環境で、子どものころにお父さんを亡くしたリーダーの話を行いました。そして終わりの会では、神崎キャンプ長が、どうしてこのキャンプを行うのかを自分の経験を交えて話し、次のキャンプでまたみんなに会いたいと呼びかけました。

こうした時間の受け止め方は、子どもによって大きく違います。神妙な、しかし穏やかな表情の子もいれば、わざとふざけて過ごす子、そわそわと落ち着かない様子の子もいます。そうした対応の違いは、大切な人の死を受け入れる準備がどの程度できているかによって、生じたのではないかと思います。

### 遊ぶ、歌う、走る、食べる

とはいえ、キャンプの基本は楽しいことです。グループでなにをするか考えて、いろんな遊びをしました。野外炊事にクラフト、キャンプファイアとTIE-DYE(絞り染め)のTシャツづくり、朝には富士山を見にお散歩にも出かけました。2日目の夜には雨が降り、テントの中はバタバタという雨音でうるさかったのですが、それが気になったと口にするのはスタッフばかり。子どもたちはいっぱい遊んで疲れ、たっぷり食べて、ぐっすり眠っていたようです。

### 次のステップへ

とても楽しいキャンプでしたが、2泊3日はやはり短かったというのが正直な気持ちです。今回の「おもいで時間」はとても意味あるプログラムでしたが、「せめてあと1日あれば、また違った表情が見られただろう」という気持ちも残ります。そんなこともあって、次回のキャンプは3月に4泊5日で行うことに決めました。今回の経験を生かして、リーダートレーニングのプログラムをしっかり組み立て、十分に準備を尽くし、このキャンプがキャンパーにとっての大切な場所になるよう、一層の努力をしたいと考えています。

このキャンプは、朝日新聞厚生文化事業団に寄せられた寄付金の一部を用いて実施しました。



自分の気持ちを表情のイラストで表現し、飾り付けをしました



キャンドルファイアでは、心地よい音楽を聴いてリラックス



気持ちがザワザワするときも、リーダーが寄り添っていました



食事の後片付けも、大騒ぎの楽しいプログラムになりました

## III. 職員退職のお知らせ

9月末日をもって、幾田雅彦が日本キャンプ協会を退職いたします。後任等、事務局体制については機会を改めてお知らせをいたしますが、幾田が担当しております業務についてお問い合わせがありましたら、当面の間、金山もしくは秋山までおたずねください。なお、新規職員の募集については要項が決まりしだい協会WEBサイト等でご案内します。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

#### IV. 2012 キャンプの安全について考える標語

キャンプ安全キャンペーンの一環として「キャンプの安全について考える標語」を募集したところ、国内各地より 1,161 通の作品が寄せられました。そこから 2 点を優秀作品として選び、入賞者には副賞としてキャンプ用品をお贈りしました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

最優秀作品      安全なキャンプはみんなが責任者      南 英一さん（滋賀県）  
 優秀作品      自然の声 耳を澄ませて 安全キャンプ      奥田雅信さん（兵庫県）

## 各都道府県キャンプ協会事務局担当者のみなさまへ

県協会の実施する「広域事業」「公益性の高い事業」の支援を行います

平成 25 年度にブロックで共同実施したり、県協会が地域の関係他団体と協力して実施する、キャンプ・ムーブメントの拡大に資する事業に対して支援を行います。これは平成 23 年度に策定した中期総合計画に則った施策で、各地域でのキャンプ協会の認知を高めるために、地域に根ざした事業が広く行われるよう支援するものです。本支援事業は、第 1 期として平成 25 年度から 27 年度の 3 年間で予定していますが、まずは平成 25 年度分の募集を行います。

対象となる事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロックもしくは複数の県協会が協働して実施するもの</li> <li>・県協会が関係他団体と協働して実施する、広く一般を対象にしたもの</li> <li>・県協会が関係他団体と協働して実施する、新規性、公益性が高いもの</li> </ul> ※既存の事業も対象とします。(最大 3 年間) ※事業完了後に事業報告・収支報告の提出が必要です。 ※具体的な支援の方法、手続きの詳細については別途規定します。
支援の内容	資金提供やスタッフトレーニングにつながるアカデミー事業の実施、物品提供など (最大 20 万円相当)
応募締切	平成 24 年 12 月 15 日 (結果は平成 25 年 1 月下旬に通知します)

本事業の趣旨、対象となる事業、応募方法等の詳しい内容については、募集要項をご覧ください。要項は 10 月上旬に各県協会事務局宛に郵送するほか、メール(\*\*\*\*@camping.or.jp あて)送信、事務局ポータルサイトへの掲載を行います。

## NCAJ CALENDAR

これまで

9/7	幼児キャンプ講習会プロジェクト(仮称)ミーティング	@日本キャンプ協会事務局
9/11	第 7 回 出会いと体験の森へ実行委員会	@スカウト会館
9/14	第 4 回 CONE 安全委員会	@国立青少年センター
9/14	メールマガジン CAMPING News vol.56 発行	
9/15-17	グリーンキャンプ SKY CAMP in あさぎり	@朝霧野外活動センター
9/20	日本キャンプ協会事務局ミーティング	@日本キャンプ協会事務局
9/26	第 5 回 常務会	@国立青少年センター
9/27	第 2 回 アウトドアチャレンジ野外力検定実行委員会	@国立青少年センター

これから

9/28	第 2 回 アウトドアチャレンジ運営協議会	@スカウト会館
9/29-30	東京キャンプフェスティバル 2012 (関東ブロックミーティング)	@おにし青少年野外活動センター
10/1	第 4 回 CAMPING 編集委員会	@国立青少年センター
10/5	メールマガジン CAMPING News vol.57 発行	
10/23	第 6 回 常務会	@国立青少年センター
10/24	第 8 回 出会いと体験の森へ実行委員会	@スカウト会館
10/26	メールマガジン CAMPING News vol.58 発行	
10/27	第 3 回 あつまれ! 秋のキッズフェスタ / 体験の風をおこそうフォーラム	@国立青少年センター
10/27-28	北海道キャンプ協会 20 周年記念事業 (北海道・東北ブロック会議)	@札幌エルプラザほか
10/27-28	第 1 回 九州キャンプ大会 (九州・沖縄ブロック会議)	@上郷地区交流センター (八女市)

# TOPICS

## 子どもゆめ基金 平成 25 年度募集が始まりました

子どもの自然体験活動などをサポートする、子どもゆめ基金の平成 25 年度分の募集が始まっています。この年度より募集は前期と後期に分けて行われることになり、今回申請できるのは平成 25 年 4 月 1 日から 9 月 30 日の間に開始される活動となります。

その他の変更点もありますので、WEB サイトに掲載された募集案内をよく読んでお申し込み下さい。

募集期間：9 月 14 日～12 月 5 日（当日消印有効）

対象活動：平成 25 年 4 月 1 日～9 月 30 日に開始される体験活動

子どもゆめ基金 WEB サイト <http://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/index.html>

募集案内 (PDF/55MB) <http://yumekikin.niye.go.jp/jyosei/download/boshu/taiken/25/taiken.pdf>

子どもゆめ基金ガイド 2012 <http://yumekikin.niye.go.jp/download/pdf/yumeguide2012.pdf>

※活動事例として宮城県キャンプ協会が紹介されています。

問い合わせ先：国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 0120-579-081（平日 9:00～17:45）

## 第 3 回あつまれ！秋のキッズフェスタ

### 体験の風をおこそうフォーラム

10 月 27 日(土)、国立オリンピック記念青少年総合センターで、「第 3 回あつまれ！秋のキッズフェスタ」「体験の風をおこそうフォーラム」の 2 つのイベントが開催されます。

秋のキッズフェスタ（参加申込み不要）では、キャンプクラフト（協力：東京都キャンプ協会）、アウトドアチャレンジ野外力検定（協力：千葉県キャンプ協会）など、親子連れで楽しめるたくさんのブースが並びます。

体験の風をおこそうフォーラム（参加申込み必要）では、元 TBS 記者で京都造形芸術大学教授の秋山豊寛さんの講演『感性を豊かにする実践』が行われます。



第 3 回あつまれ！秋のキッズフェスタ要項

<http://nyc.niye.go.jp/pdf/akikids.pdf>

体験の風をおこそうフォーラム要項

<http://www.niye.go.jp/files/1053/928390949.pdf>

問い合わせ先

あつまれ！秋のキッズフェスタ：国立青少年教育振興機構教育事業部企画推進課 Tel. 03-6407-7716

体験の風をおこそうフォーラム：国立青少年教育振興機構調整室 Tel. 03-6407-7621

## 平成 25 年度 独立行政法人国立青少年教育振興機構職員募集

採用予定数：若干名

採用予定日：平成 25 年 4 月 1 日（最終合格決定日以降、採用予定日以前に採用される場合もあります）

勤務場所：機構本部（東京都渋谷区）または全国 28 か所の教育施設

応募資格：大学卒業（平成 25 年 3 月卒業見込み含む）またはそれと同等以上の学力を有する者

年齢がおおむね 30 歳までの者（青少年教育施設・団体等教育機関における職務経験を有する者はこれによらない）

応募締切：10 月 19 日(金)必着

応募方法の詳細および独立行政法人国立青少年教育振興機構については、募集要項をご覧ください。

<http://www.niye.go.jp/files/items/50/File/H25youryou.pdf>

問い合わせ先：独立行政法人国立青少年教育振興機構 管理部人事課 人事企画係

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

TEL. 03-6407-7642（月～金 9:00～17:45） E-mail: honbu-jinjikikaku@niye.go.jp



公益社団法人日本キャンプ協会 Monthly Report vol.6

2012/09/27

発行者：公益社団法人日本キャンプ協会 事務局長 金山竜也

お問い合わせ・電話：03-3469-0217

e-mail: ncaj@camping.or.jp



Monthly Report vol.7 は 10 月 25 日(木)ころの発行を予定しています。